

ミ、よく／＼考へて見たら、そうか三分つた。それは解説
子に、年末休暇を與へるためであつたのである。たゞそれ

誘導保育

第十三週

蝶

胴を裏表二重にして、羽根が上下に動く様に工夫し
た。觸角も二本つけ、之も動く様に出来る。

色塗り、切り抜き、——子供の仕事

ぬひつけ——

大人の仕事

第十四週

まうなす人形

まうなすの胴に、女の子の上半身が乗つてゐる繪。す

つみ以前に、外國雜誌にぬりゑとして出てゐたもの、

之を原型にして、女の子の胴が前後に動く様に工夫し

た。

クリスマス家の

だけで別に何んの譯もないこゝであつたのである。

玩具展覽會で見たもの。サンタクロースのお爺さんが、

おもちゃの一つばいは入つた袋を擔いで、家の煙突か

ら出たりは入つたりするもの。サンタお爺さんは、幅

三センチ位、長さ二〇センチ位の厚紙の尖端に付いて

居り、之が煙突を上下する様な仕掛けに工夫されたも

のである。之は切紙の仕事もは入つてゐる。時節柄で

もあり、子供等に大變よろこばれる。

第十五週

かばん

ラシャ紙を用ゐた。女の子には、女の子らしい色のを、

男児には男児らしいものを與へた。形は、三つ折りに

して、一番上に出る所の形をいろ／＼にした。チュール

リップの花びらの様な形、櫻の花びらの様な形等に。

そして、折り疊んで外側になる所の二面に、各自好き々々の切紙をさせた。

之でいよく豫定したものが全部出来た。手や足の

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 二回

電車ミ汽車(コドモノクニ)

歌詞の二番で、汽車は弱蟲だ云ふ取扱ひは如何かと思ふが、全體の調子がよく、氣持よく歌へるので、子供たちは好んで歌ふ。

オシャウグワツ(エホンシャウカ)

もう一つの年少組で習つたお正月の歌の方が、古くから歌はれてゐるだけに親しまれてゐる様だが、これを歌つてお正月を迎へるうれしい氣持を表はすには變りなく、お正月のうた云ふミニ子供の聲が一段ミ活氣づくのはほほ笑ましい限りだ。

動くものばかり、みんな自分達の拵へたものばかり、

みんなで七種、之を最後に出来たかばんに入れて、喜んで、今學期のおしまひの日に家へ持つて歸る。

遊戯 三回

オシャウグワツ(記事参照)

第十四週

唱歌 三回

凧(をさなごのうた)

皇太子様お生れなつた

年少組ミ同様。

一月一日の歌

年長組にもなれば、大抵は兄弟の歌ふのを聞覚えて知つてゐる。たゞよく世間でふざけて變に歌はれてゐるのを、正しいのを知らずに真似て歌つたりする子供もゐるので、この際先生が正しい歌を歌つて聞かせることは必